

中学校 2年

示し方や構成を工夫して意見文を書こう

東大阪市立布施中学校

教科

国語

単元名

根拠の適切さを考えて書こう

本時のねらい

- ・自分の意見を明確に伝えるために、適切な根拠の在り方について考える。
- ・適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・シンキングツール「ウェビング」を活用し、思いついた考えや物事をつなぎアイデアを広げる。
- ・作成したカードをもとに、書く内容を整理し、自分の考えを言葉や文章で表現できる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板
- ・ロイロノート・スクール

本時の展開

本時で育む主な情報活用能力

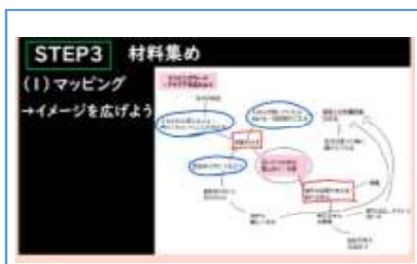
A-STEP 4, C-STEP 4
D-STEP 4, L-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。

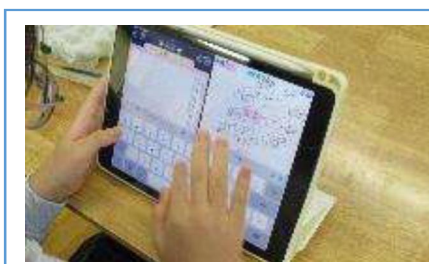


学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	【学習課題】 適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分の意見が効果的に伝わる文章を書こう。 ○学習の流れや進め方を確認し、自分の課題の進捗状況の確認を行う。 【写真1】	・ロイロノートを活用して本時の学びを確認し、マッピング→思考整理→文章記述の順で学びを進めている。最初に本時の進め方の確認を行い、各自で自己調整しながら学習を進めることができるようにする。
展開 (40分)	○誰と学ぶかは自分の課題に合わせて自己選択する。 ○「社会を明るくするために自分ができること」を考えながらテーマ設定を行うために、昨年度の振り返りやインターネットによる検索等を行う。 ○設定したテーマに対してどういったアプローチができるか、より具体性をもった視点で練り上げる。 ○シンキングツールで発想を広げたり、文章の順序等を組み合わせたりすることで、相手に伝わりやすい表現を模索する。 【写真2】	・何度も書き直すことが容易であるため、具体、抽象、実現の可否にこだわらず、多くのアイデアをウェビングマップに書き出せるよう支援する。
まとめ (5分)	○他者に伝わる文章の構成ができるよう、次のステップを提示する。 【写真3】	・マッピングやまとめの活動では、ロイロノートの共有ノート機能を活用し、自分のタイミングで他者の考えを参照できるようにした。また、提出箱についても共有することで、次時の活動にどう活かすかという観点で振り返ることもできる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】学びの進め方を提示



【写真2】シンキングツールの「ウェビング」を活用し、作文している様子



【写真3】文章の構成について、クラウド上で各自の考えを共有。他の生徒の工夫や学び方を参考に次時の課題へとつなげる。

児童生徒の反応や変容

- ・シンキングツールを活用することで、スモールステップで筋道を立てながら意見文を書くことができた。
- ・ロイロノートの共有ノートや提出箱を活用することにより、クラスメイトの文章構成の工夫を思考段階から見るができる。それを受けて自身で工夫する生徒が増えた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

学習の進め方を示すことで、授業の時間内に各自ゴールを設定し、自身のゴールに合わせて誰と学ぶかを選ぶことができる。また、教員は一人ひとりへの丁寧な指導や支援を行うことができる時間が確保される。学習活動に適したシンキングツールで学び方を学び、最終的には、適したツールを自分で選択できるように指導及び支援を行ってきたい。